

「久坂玄機と月性」の関わり

月性は、久坂玄瑞の兄である玄機と早くからの親交がありました。二人は、どことなく似通ったところがあり、気が合うのか、一緒に旅したこともあったそうです。また、二人とも酒を好み、気の許せる酒席では、長刀を引き抜いて剣舞を踊ったりしていました。たいていの場合、月性が玄機の刀を奪って踊っていたようです。現在、月性展示館にある月性の肖像画は、長刀をかざして踊る姿が描かれていますが、おそらくは、玄機の刀であろうと伝えられています。

玄機は、医師でありながら、武士の世界に傾倒しており、蘭書の翻訳では医学書より兵書に趣きをおくなど、医師の身分でありながら、藩主からは海防策の助言を求められるほどでした。そうしたことから、海防僧である月性とは、肝胆相照らす仲としてよく論じ合っていたと言われていています。そして月性は、親交のあった松陰に玄機のことをよく語っていたようです。

@kawa